

様式第3号（第7条関係）

## 会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 「みと好文カレッジ運営審議会」
- 2 開催日時 平成30年7月30日（月） 14時30分から16時00分まで
- 3 開催場所 水戸市農業委員室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員 藤田一宏，綿引 健，中庭陽子，平野弥生，助川公継，古橋賢治  
金 光男
  - (2) 執行機関 大澤秀樹，山田規夫，蓮沼邦彦，関根 豊，高森利光，橋本純子
  - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - ◎ 報告事項
    - (1) 平成30年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について（公開）
    - (2) 平成30年度みと好文カレッジ事業実施計画について（公開）
    - (3) 平成30年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について（公開）
  - ◎ 協議事項
    - (1) 「さきがけ塾」第5期生募集について（公開）
    - (2) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
  - (1) 平成30年度第1回みと好文カレッジ運営審議会
  - (2) 平成29年度 市民センター等事業実績一覧（別冊）
  - (3) 別添資料一覧
  - (4) さきがけ塾・水戸市生涯学習サポーター企画講座集

## 9 発言の内容

- 委員長： それでは早速議題に入りたいと思います。まず、報告事項(1)平成 30 年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策について、事務局よりお願いします。
- 執行機関： 報告事項(1)について、平成 30 年度第 1 回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明。
- 委員長： ただいま事務局から説明がありましたが、何か御意見、御質問などがありましたら、お願いいたします。
- 委員長： それではまた何かあれば、最後に時間をとりますので、先に進めます。次の報告事項(2)平成 30 年度みと好文カレッジ事業実施計画について、事務局より説明願います。
- 執行機関： 報告事項(2)について、平成 30 年度第 1 回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明。
- 委員長： ただいま事務局から説明がありましたが、すでに実施済みのものもあるとのこと。何か御意見、御質問などがございましたらお願いします。今年、新規の事業は(8)ですね。
- 執行機関： はい。
- 委員長： (1)から(7)は以前からの継続のものですね。
- 執行機関： はい。
- 委員長： いかがでしょうか。それではまた何かあれば、最後に意見をいただきますので、先に進めます。次の報告事項(3)平成 30 年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について、事務局より説明願います。
- 執行機関： 報告事項(3)について、平成 30 年度第 1 回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明。
- 委員長： ただいま事務局から説明がありました。何か御意見、御質問などがございましたらお願いします。いかがでしょうか。2月の運営審議会のおりにも報告されているとのことですので、よろしいでしょうか。次に、協議事項に移ります。協議事項(1)「さきがけ塾」5期生の募集について、事務局より説明願います。
- 執行機関： 協議事項(1)について、平成 30 年度第 1 回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明。
- 委員長： ただいま事務局から説明をいただきましたが、御質問等があればお願いします。
- 委員長： 昨年度の運営審議会において、2年間を1年間に変更することについては、承認済となっております。理論、実習、実践という形で進めていくこととなっておりますが、何かご不明な点があればお願いします。
- 副委員長： お聞きしますが、今までは40回講座の開催というものを、今後は20回とい

うカウントでよろしいのですか。それとも 20 回プラス実習や実践を入れて、総時間数はそんなに変わらないのかをお聞きかせください。

執行機関： 時間数的には少し短くなります。4 期生について 2 年間にわたって講座を行ってきましたが、実習編というものは設けておりませんでした。5 期については、学ぶ部分については短くなりますが、実習を行い、その後実践に移っていただくこととした（案）の方を示してございます。

副委員長： 新たに、実習と実践が加わったということですね。

委員長： 参考までに、2 年間で 1 年間にした経緯として、受講生からの希望が多かったのか、講座内容をコンパクトにしたかったのか、あるいはサポーターの数をもっと増やしたかったのか等、分かる範囲で教えてください。

執行機関： サポーターの数ですが、第 6 次総合計画において 2023 年度には 80 人の登録という目標を設定しております。2 年間で実施の場合は、課題として説明しましたとおり、受講中に断念してしまう方や仕事などで転勤されてしまう方などもおり、なかなか成果に結びつかないという現状でございます。また、この講座が始まって 8 年が経過しますので、改めて見直すという趣旨でお示したところでございます。

副委員長： 目標が 80 人という話がございますが、現在サポーターの数が 37 名プラス 23 名ぐらいの見直しにはなるのですか。

執行機関： 実際 23 名は、最初の募集したときの数でございます。

副委員長： 修了生に対しサポーターになる数が少ない感じがしますので、残念です。何が一番課題なのですか。

執行機関： やはり、1 年目でやめてしまう方もいますので、受講期間が長いというのがあったと思います。

委員長： 他にいかがでしょうか。特に無ければ、さきがけ塾第 5 期生の募集について、御説明の通りでよろしいでしょうか。それでは御意見が無ければ、そのような形でお願いします。

委員長： 次に協議事項(2)その他ということですが、他にございませんでしょうか。

\_\_\_委員： 報告事項に戻ってしまいますが、各講座等これだけ企画・実施をされているので十分評価したいのですが、見せていただいた報告事項(3)と参考資料でいただいた「平成 29 年度市民センター等事業一覧」の重点目標等が、平成 29 年度と平成 30 年度で変わっていないのは、年度を通してやっているから変えていないのか、達成されていないから変えていないのか、御説明願います。

執行機関： 基本的には、継続としております。達成していないからということではないと思います。

\_\_\_委員： 今後は、最初にその旨の説明をお願いします。第 6 次総合計画があり、生涯学習基本計画があり、それに基づいて計画を立てておりますので、必ずローリ

ング、PDCA を行っていかなければならないと思います。せっかくこれだけのことを積み重ねているのであれば、方針は引き継いでいても、表現の仕方は変わると思います。重点目標の「努めて」については、29年度に「努めて」いたはずなのに、30年度も達成できていないからまた「努める」というように捉えられてしまいます。表現の仕方が「推進する」や「実践する」に変わっているはずなのに変わっていないのを、課題としてとらえていただき、表現を整えていただきたいと思います。また、29年度はこのようであり、課題としてはこのようなものがあつた、そのため30年度はこのような目標で行うなどの議論ができるよう、審議会の運営も踏まえて事務局にお願いしたいと思います。

執行機関： はい、分かりました。

委員長： その他何かありますでしょうか。

――委員： 現代的課題を扱った学習の機会、市民の学習ニーズを把握することとありますが、さきがけ塾について2年やって辞めていくというのは、モチベーションが下がってという方、あるいは修了された方が登録しないという問題があると伺いましたが、市民の学習ニーズを把握するための工夫として、アンケートや意向調査を行っているのかが気になりました。もう一つは、現代的課題というと、市民センターの実績一覧をパラパラと見ましたが、リタイアした人たちの人生楽しむための老後の趣味や生きがいとかに中心が置かれているような気がします。パソコンや語学まで含まれております。現代的課題の扱い方について、水戸市の内部でも議論があつたのかどうかが気になりました。答えなくて結構です。気になったのでお話ししました。

執行機関： さきがけ塾につきましては、もうすでに8年間事業を行っており、昨年度から、運営審議会の各委員から各意見をいただいたり、参加者の様子を見たり、アンケートを取ったりしてきました。その中でどうしても2年サイクルは長すぎる、また現代的課題についてもそれぞれの参加者で捉えるところの違いもございました。生涯学習サポーターに登録していただいて、現代的課題を扱った講座の企画立案をし、実践も行っていただきました。平成29年度も6講座ほど実施してございます。つくばの研究が盛んな分野における講座を市民講座として提供するほか、防災関係を主体として行うなど、それぞれ専門的な分野におきまして講座を開催しております。それぞれ色々な考えがあつて良いとは思いますが、修了生の中には、どうしてもそのようなグループの中に入っていけない方もいます。途中で挫折してしまう方もいる状況もあることから、さきがけ塾を2年から1年とし、見直しを図りながら現代的課題を扱った講座の企画立案をするサポーターとしての養成をしていきたい、将来的には80人という目標の中で、市民センター等を拠点に事業実施を展開していきたいという思いは持っております。今後は、点検見直しを図りながら、各委員の方々に御意見

をいただきながら更なる事業向上に努めていきたいと考えております。

委員長 : 確かに色々なニーズの方がおり、学ぶ意欲のある方、学んだあとに活かしたい貢献したいという方など、学ぶモチベーション、目的は様々ではないかと思  
います。今度は、2年間で1年間になりますので、どのような方が来るのか、  
意識調査は今後必要ではないかと思ひます。他にござひませんか。無ければ、  
本日はこれで終了させていただきます。

以下余白